

つくば市指定管理者実績評価表

所管課	市民部文化芸術課
評価対象期間	令和5年(2023年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで

1 施設の概要

施設概要	名称	つくばカピオ			
	所在地	つくば市竹園1丁目10番地1			
	関係条例等	つくばカピオ条例			
	設置目的	市民に文化活動、スポーツ活動等による交流の場を提供し、豊かな市民生活の形成に寄与する。			
指定管理者	名称	公益財団法人つくば文化振興財団			
	所在地	つくば市竹園1丁目10番地1			
指定管理業務の内容		指定管理者が行う業務 (1)利用に関する業務 ① 利用の受付及び許可 ② 利用料金の收受 ③ 利用の促進 (2)管理運営に関する業務 ① 組織体制及び人員配置等 ② 個人情報保護及び情報公開 ③ 事業計画書等の作成 ④ 事業報告書等の作成 ⑤ 環境への配慮 (3)維持管理に関する業務 ① 施設維持管理業務 ② 保守点検業務 ③ 運転操作及び監視業務 ④ 建築物環境衛生管理業務 ⑤ 植栽管理業務 ⑥ 備品管理業務 ⑦ 清掃業務 ⑧ 保安警備業務 ⑨ 掲示物・配布物の管理 (4)事業に関する業務 ① 市民への文化活動、スポーツ活動等の交流の場の提供 ② 文化活動及びスポーツ活動等の振興 ③ 公演、演劇、講座等の企画運営			
指定期間		令和5年(2023年)4月1日から令和10年(2028年)3月31日まで(5年間)			
総合評価(年度評価)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)

管理運営実績データ

施設名

	目標・計画等	実績	原因・指示・勧告等
利用者数 稼働率等	文化やスポーツの交流の場として、多くの利用者があるため、より良質な市民サービスを提供し、利用率を維持していくことにより、市民目線での良好な管理運営を行う。 目標値(利用率) 91%以上	〔R5年度実績〕 ・利用日数 : 312日 ・利用可能日数 : 335日 ・利用率 : 93% ・利用者数 : 134,062人 ※上記の数字は、アリーナ・ホール・会議室などつくばカピオにある全ての施設の平均値である。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し落ち着いてきた影響もあり、利用者も徐々に増加し目標値を達成することができた。 令和6年度も引き続き市民目線での管理に努め、さらなる利用率及び利用者数の増加を図るよう要請する。
自主事業 (講座・セミナー等)	文化芸術に関わる環境提供の一環として水彩画教室(1講座:全12回) ホールの照明や音響などの効果や操作を体験することにより、施設に興味を持ってもらう企画(全1回)	〔R5年度実績〕 ・水彩画教室(全12回) ・バックステージツアー(全1回) ・学習スペース提供(3月から)	新型コロナウイルスの感染状況が落ち着き、5年ぶりに自主事業を実施することが出来た。各事業とも参加者から好評を得ており、令和6年度以降も積極的な実施を要請する。
アンケートの実施状況 (利用者の満足度、苦情等)	利用者の立場で施設運営を行う。また、利用者へのアンケートを実施し、利用者の意見や要望をもとに、職員研修等を行い、今後のサービス改善につなげていく。 ○実施方法 ①貸館利用者の代表者に個別に紙のアンケート用紙を配布し、回収 ②施設内に来場者が記入できる用紙を設置し、回収 ③WEBのアンケートフォームから回答 ○実施時期 通年	実施方法及び実施時期については計画どおりに行った。 ○実施時期 通年 ○実施結果 回答件数 702件 ①管理は行き届いているか 「満足」94.0% 「普通」5.1% 「不満」0.3% 「無回答」0.6% ②利用しやすいか 「満足」92.2% 「普通」6.0% 「不満」1.0% 「無回答」0.8% ③職員の対応 「満足」94.3% 「普通」5.1% 「不満」0.0% 「無回答」0.6%	利用者の満足度は全体的に高いと思われる。「管理は行き届いているか」「利用しやすいか」「職員の対応」とも92%以上が「満足」と回答しており、適切な管理運営が行われていることがうかがえる。
収支状況	全ての業務において、経費の精査を行い、経費節減に努める。 また、補助金等の外部資金の導入に積極的に取り組み、財源を確保し、施設の安定的な運営につなげる。 〔R5年度計画〕 ○収入 152,485,000円 指定管理料118,488,000円 利用料収入 33,037,000円 その他 960,000円 ○支出 152,485,000円 人件費 36,612,000円 光熱水費 38,869,000円 その他経費 77,004,000円	〔R5年度決算〕 ○収入 165,600,629円 指定管理料 128,879,217円 (内 10,391,217円 : 光熱費増加対応分) 利用料収入 28,446,840円 補償金 5,169,650円 その他 3,104,922円 ○支出 162,378,158円 人件費 35,398,289円 光熱水費 48,634,796円 その他経費 78,345,073円 ○収支差引額 3,222,471円 【利用料金の減免状況】 ・令和5年度 日数 47日 金額 4,022,020 円	新型コロナウイルス感染症の影響から回復しつつあるが、改修工事による休館があり利用収入は計画を下回った。なお、当該工事に係る減収については補正予算で補償を行った。 また、エネルギー高騰による光熱費の増加分については、補正予算により指定管理料を増額をし、さらに経費を削減したことによりプラスとなった。

2 評価結果

評価項目		
(1) 管理状況		評点
項目	視点	
①適切な管理の履行	協定や事業計画に沿った管理が適切に履行されているか。(清掃、警備、保守点検、環境配慮等)	2
②適切な職員配置	職員配置は適切か。(有資格者等の配置)	2
③職員研修・人材育成	職員教育、育成は適切に行われたか。(就業規則、接遇等研修、法令、情報管理等)	2
④職員の労働環境	労働条件や労働環境は適正か。	3
⑤個人情報の取り扱い	個人情報保護及び情報公開は適切に行われたか。	2
⑥安全対策・事故防止対策	来館者の安全対策、事故防止策は適切であったか。	2
⑦危機管理体制	防犯及び防災、その他事故等緊急時の体制、対応は十分であったか。	3
【評価の理由】 ④職員の有給休暇の取得率が平均82.8%で全国平均62.1%※を大きく上回り、適切な労働環境が確認できた。※厚生労働省「令和5年度就労条件総合調査」より ⑦危機管理体制については、警察と定期的に利用者状況を共有し、巡回の強化をお願いする等、連携を図っている。キャンプ等で禁止しているスケートボードを行っている悪質なグループや不審者の情報を警察に提供し、利用者の安全確保に努めている。		
(2) 運営状況		評点
項目	視点	
①平等利用の確保	平等・公平な利用に配慮されていたか。	2
②指定事業の実施	仕様書に指定された事業が計画通り実施されたか。	2
③自主事業の実施	事業者の創意工夫によるサービスの向上や利用促進策が予定通り図られたか。	3
④利用者意見の反映	利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組がなされているか。	2
⑤意見・苦情等への対応	利用者からの苦情やトラブルに対し、適切に対応したか。	2
⑥利用者満足度	利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られているか。	3
⑦利用実績	利用者数・利用料金収入を増加する又は確保するための取組がなされているか。(導入前との比較、導入後の推移等)	2
⑧地域との関わり	市民のニーズを反映した取組がなされたか。 地域の住民や団体との連携が図られているか。 地元住民や地元業者の活用等、地域活性化に貢献しているか。	2
【評価の理由】 ③新たな試みとして行った水彩画教室が人気を博し、講座終了後も受講者が自主的に集まって腕を磨いており、市民の文化芸術に対する意識を大いに高めた。また、施設の有効活用策として、計画になかった学習スペースの提供事業を開始した。 ⑥高い利用率で利用者が多い中、受付時から使用時まで丁寧に対応することで、アンケートの「職員の対応」で満足との回答が94%を超える結果となった。		

2 評価結果

評価項目		
(3)収支状況	項目	視点
	①管理運営経費の節減	管理経費を縮減するため、効果的・効率的な執行がなされたか。
	②事業収支	収支計画は、計画どおり達成されたか。
	【評価の理由】	

【総合評価】

合計評価	38	評価ランク	B
------	----	-------	---

【総評】 ※評価を踏まえ、翌年度の指導方針や、指定管理者制度の導入目的が達成されているかを記載する。

(公財)つくば文化振興財団は、平成18年度からつくばカピオの指定管理を行っており、令和5年度から6期目に入っている。指定管理期間中は、着実に稼働率を向上させ、利用者からのアンケートでも高い評価を得るなど、アリーナとホールを持つ施設として、多目的に利用できる特性を生かし、効率的な運営が行われている。

収支状況については、新型コロナウイルス感染症の影響があり利用料収入は減少していたが、徐々に利用者が増えてきており、令和5年度はプラスとなった。これまでの実績も考慮すると安定しており、指定管理者による経営努力が認められ、評価に値する。また、何らかの問題が発生した場合でも、つくばカピオの職員から速やかに担当課への報告が行われており、状況に応じて、迅速かつ適切な対応ができていることも評価できる。

今後も、高い満足度を維持しつつ、利用者の立場に立った管理運営を心掛けるよう指導していく。

※添付書類

事業報告書(月別施設別利用者数一覧、月別施設別稼働率一覧、自主事業実績、利用者満足度調査(アンケート調査等)結果、苦情一覧、収支報告書等)、モニタリングチェックシート、労働環境確認シート

【評価の基準】

- 4: 目標や計画を大幅に上回るすばらしい成果があがったもの
- 3: 目標や計画を上回る成果があったもの
- 2: 目標や計画どおりの成果があったもの
- 1: 工夫や改善は認められるが、結果的に目標や計画を下回っており、さらなる努力が必要なものの
- 0: 目標や計画を下回っており、(所管部署の指導にもかかわらず、)工夫、改善が足りないもの

※ ただし、採点に当たっては、目標設定の度合いを考慮して行うことができる。

【総合評価の基準】

- S: 総合的に評価した結果、特に優れていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が49点以上)
- A: 総合的に評価した結果、優れていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が39～48点)
- B: 総合的に評価した結果、適正に運営されていると認められる
(0点の項目が無く、合計点が30～38点)
- C: 総合的に評価した結果、さらなる努力が必要であると認められる
(合計点が18～29点、ただし、合計点が29点以上であっても0点の項目がある場合)
- D: 総合的に評価した結果、改善すべき点があると認められる
(合計点が17点以下)

【採点表へ反映させる加減点】

上記総合評価の基準により、下表の加減点を採点表へ反映させる。

- S: 5点加算
- A: 3点加算
- B: 0点
- C: 3点減算
- D: 5点減算

※更新評価での加減点とし、年度評価及び最終評価では考慮しない。